



世界レベルのプレーに感動

昨日の世界女子ハンドボール観戦で改めて実感しました。本物を見ること、体験することは、本当に価値あることです。驚きや感動があり、心が揺さぶられます。

県立体育館で行われたスロベニア対コンゴ戦を全校児童で観戦しました。本校以外にも藤園中学校を始め複数の小学校、高校が会場に集まっていました。

試合も点数の取り合いで一進一退。本当に白熱していました。最後までどちらが勝利するのか分からないゲーム展開に子どもたちも興奮気味。スロベニア（本校の応援担当）が点数を入れるたびに手をたたき、歓声をあげています。

何よりも選手のプレーが素晴らしい。さすが世界レベルです。ボールのスピードやゴール前での巧みなパス回し。いつ、誰がシュートに行くのか、目が離せません。ジャンプした時の滞空時間の長さ、キーパーの動きを見ながらシュートを決める姿にも驚きました。

それに格闘技さながらの肉弾戦。相手のシャツをつかんだり、ぶつかったり。時には後ろから選手をつかむシーンもありました。それでも振り切ってシュートにいくたくましさ。テレビでは見るできない迫力があります。

選手のプレーだけでなく実況中継も巧みでした。「おりひめクラップ」と称し、上手に応援（三三七拍子）を促してくれます。ハーフタイムには全員でウェーブを実施。会場が一体感に包まれ、応援が盛り上がりました。

世界レベルの素晴らしいプレーを目の当たりにすることができたこと、一体になって応援したことなど、本当に価値ある体験ができたと思います。

本を読む、映像を見るだけでなく、やっぱり本物に触れることは大切です。



12月は「心のアンケート」を実施します。裏面のアンケートをご家庭に配布しましたが、何か気になることがあればいつでもご相談ください。宜しくお願いします。